

IR資料

【2024年3月期 第2四半期決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミアム）



I

2024年3月期第2四半期決算

2024年3月期第2四半期決算ハイライト

■ 売上高

売上高は521億円と前期比106億円の増収となり第2四半期として過去最高を更新

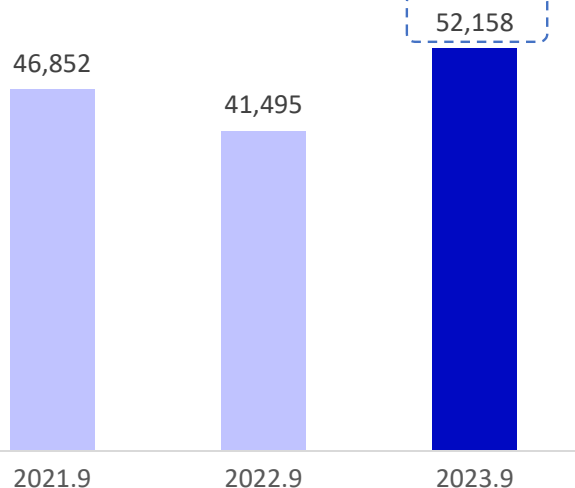
■ 利益

売上総利益は増益となったものの、従業員の給与賞与アップなどによる人件費の増加、営業活動の活発化による経費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したことで、営業利益以下の各利益段階では減益

売上高 (百万円)

前期比**106億円増 (25.7%増)**

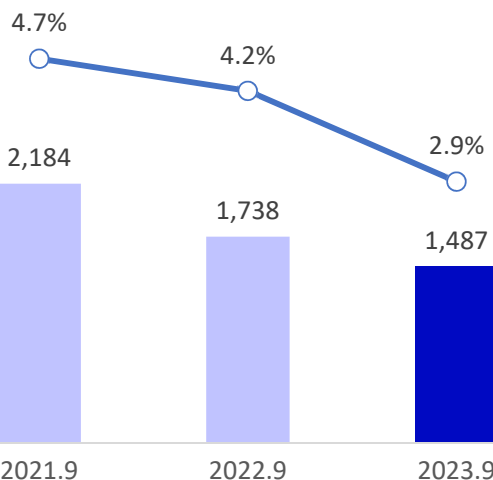
過去最高



営業利益 (百万円)

前期比**2億円減 (14.4%減)**

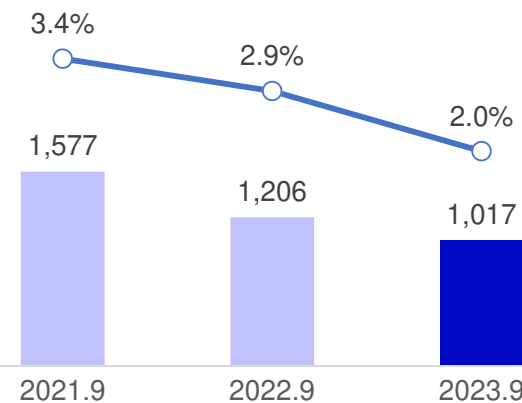
○ 営業利益率



四半期純利益 (百万円)

前期比**1億円減 (15.6%減)**

○ 四半期純利益率



2024年3月期第2四半期決算概要

(単位：百万円)

	2021.9 実績	2022.9 実績	2023.9 実績	前期比 増減額	増減率
売上高	46,852	41,495	52,158	10,662	25.7%
完成工事高	42,614	35,715	45,728	10,012	28.0%
不動産事業等売上高	4,237	5,779	6,429	649	11.2%
売上総利益	6,013	5,995	6,377	381	6.4%
(売上総利益率)	12.8%	14.4%	12.2%		▲2.2pt
完成工事総利益	4,603	4,003	4,558	555	13.9%
不動産事業等総利益	1,410	1,992	1,819	▲173	▲8.7%
販売費及び一般管理費	3,829	4,257	4,889	632	14.8%
営業利益	2,184	1,738	1,487	▲250	▲14.4%
(営業利益率)	4.7%	4.2%	2.9%		▲1.3pt
経常利益	2,211	1,775	1,564	▲210	▲11.9%
(経常利益率)	4.7%	4.3%	3.0%		▲1.3pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,577	1,206	1,017	▲188	▲15.6%
(四半期純利益率)	3.4%	2.9%	2.0%		▲0.9pt

売上高・営業利益増減要因（対2023年3月期第2四半期実績）

■ 売上高・・・前期比106億円の増収となり第2四半期として過去最高を更新

建設事業：前期までに受注した大型建築工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比100億円の増収

不動産事業：分譲マンション事業が増収となったことにより、前期比6億円の増収

■ 利益・・・営業利益は前期比2億円の減益

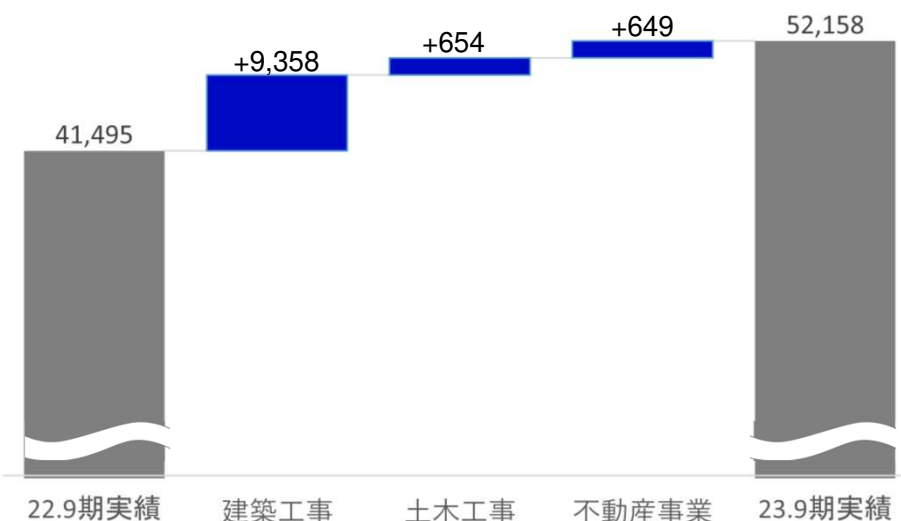
建設事業：大型土木工事において完成時の大幅な変更増額が認められたことによる採算改善効果が大きく、前期比5億円の増益

不動産事業：分譲マンション事業の増収効果があったものの、当決算期間において、前期のような自社開発の産業用地販売がなかったことで前期比1億円の減益

販管費：従業員の給与賞与アップなどによる人件費の増加、営業活動の活発化による経費の増加などにより、前期比6億円の増加

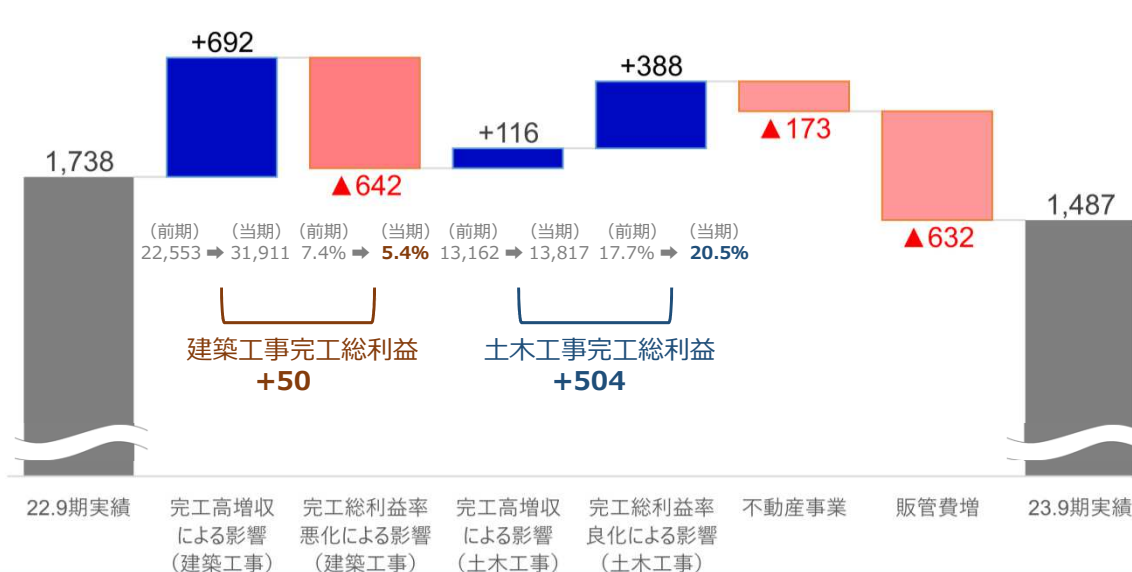
売上高（百万円）

対前期 **10,662**百万円増



営業利益（百万円）

対前期 **250**百万円減



業績予想との比較

(単位：百万円)

	2023.9 予想	2023.9 実績	増減額	予想比 達成率
売上高	53,000	52,158	▲841	98.4%
完成工事高	46,100	45,728	▲371	99.2%
不動産事業等売上高	6,900	6,429	▲470	93.2%
売上総利益	5,500	6,377	877	116.0%
(売上総利益率)	10.4%	12.2%		1.8pt
完成工事総利益	3,300	4,558	1,258	138.1%
不動産事業等総利益	2,200	1,819	▲380	82.7%
販売費及び一般管理費	5,000	4,889	▲110	97.8%
営業利益	500	1,487	987	297.5%
(営業利益率)	0.9%	2.9%		2.0pt
経常利益	500	1,564	1,064	313.0%
(経常利益率)	0.9%	3.0%		2.1pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	300	1,017	717	339.3%
(四半期純利益率)	0.6%	2.0%		1.4pt

売上高・営業利益増減要因（対期首予想）

■ 売上高・・・予想を8億円ほど下回る

建設事業：一部大型建築工事の施工の進捗が遅れたことにより、予想を若干下回る

不動産事業：予定していた販売用不動産の売却が相手先の計画見直しにより実現しなかったことで予想を下回る

■ 利益・・・営業利益は予想を9億円上回る

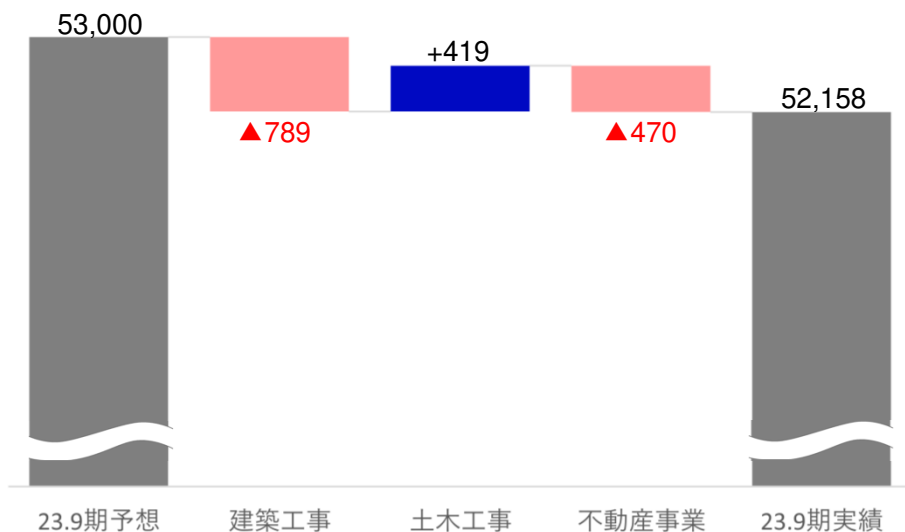
建設事業：大型土木工事において完成時の大幅な変更増額が認められたことによる採算改善効果が大きく、予想を上回る

不動産事業：販売用不動産の売却が実現しなかった影響により、予想を下回る

販管費：マンションの販売費が想定を下回ったことなどから、予想を若干下回る

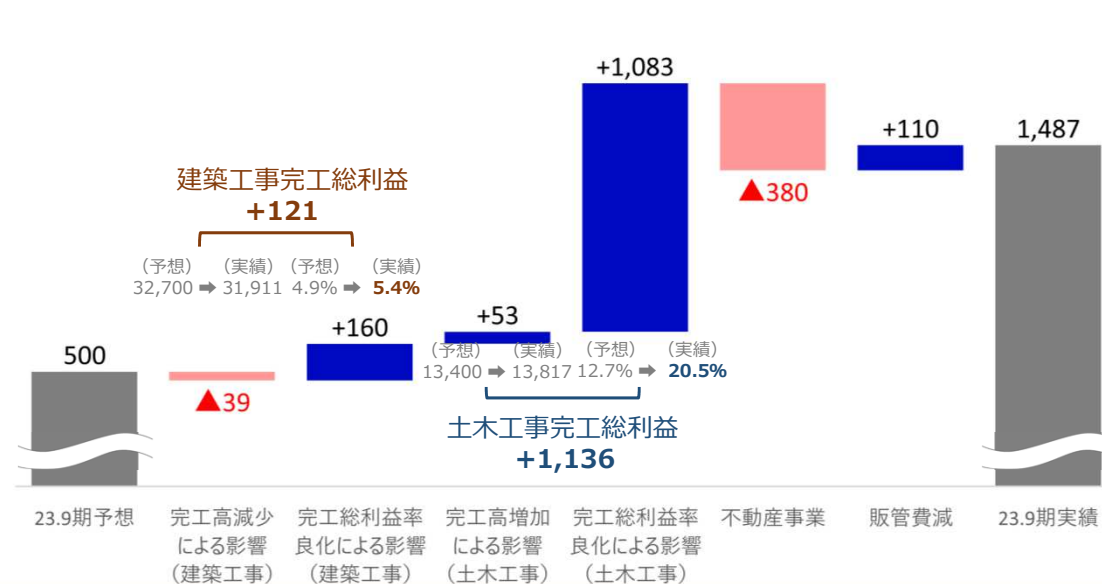
売上高（百万円）

対予想**841**百万円減



営業利益（百万円）

対予想**987**百万円増



〈セグメント別概況〉 建築事業

■ 受注高

大型物流施設や工場などの受注が集中した前期に比べ66億円の減少

■ 売上高

前期までに受注した大型商業施設、物流施設工事を中心に施工が進捗したことにより、前期比93億円の増収

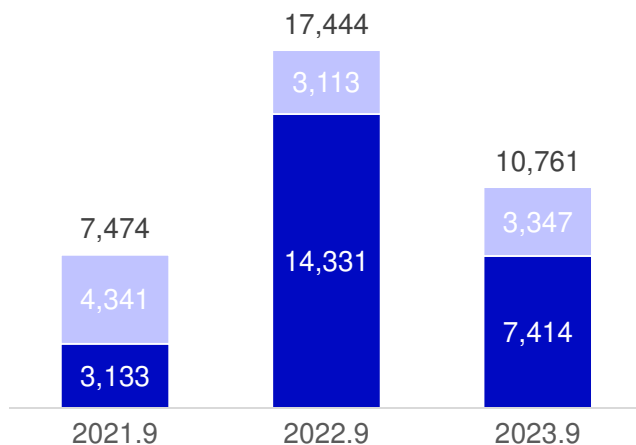
■ 売上総利益

利益率低下の影響があるものの、増収効果により前期比0.5億円の増益

用途別受注高 (百万円)

前期比66億円減 (38.3%減) ↘

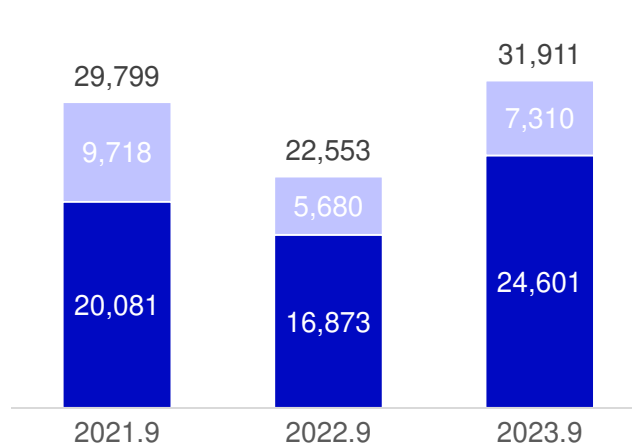
■ 一般建築工事 ■ マンション工事



用途別売上高 (百万円)

前期比93億円増 (41.5%増) ↗

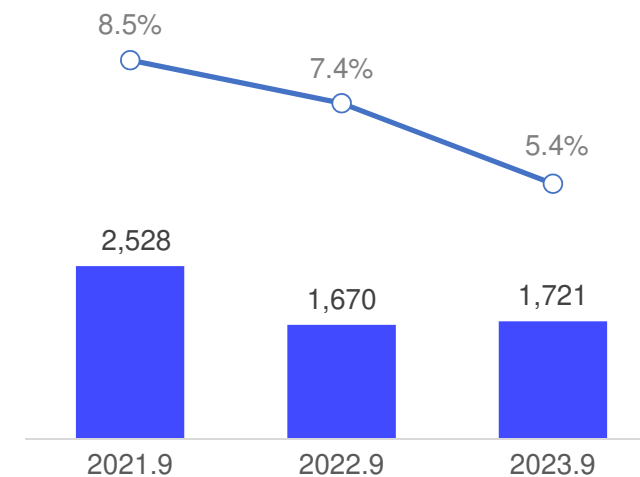
■ 一般建築工事 ■ マンション工事



売上総利益 (百万円)

前期比0.5億円増 (3.0%増) ↗

○ 連結売上総利益率



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

民間工事が増加したことで、前期比6億円の増加

■ 売上高

大型土木工事の最終精算協議において大幅な変更増額が認められたことにより、前期比6億円の増収

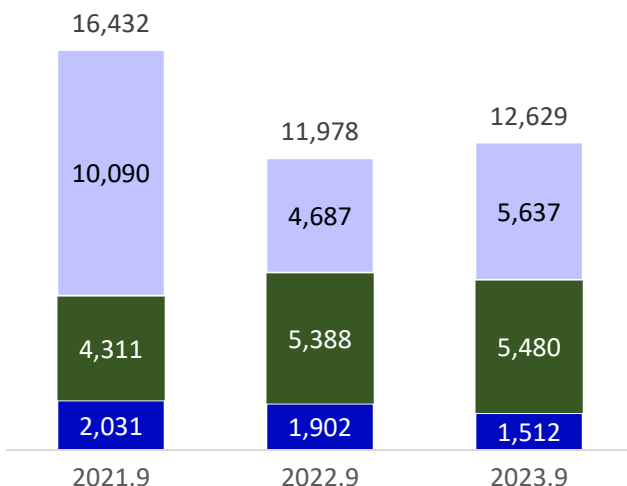
■ 売上総利益

上記変更増額による採算改善効果が大きく前期比5億円の増益

用途別受注高 (百万円)

前期比6億円増 (5.4%増)

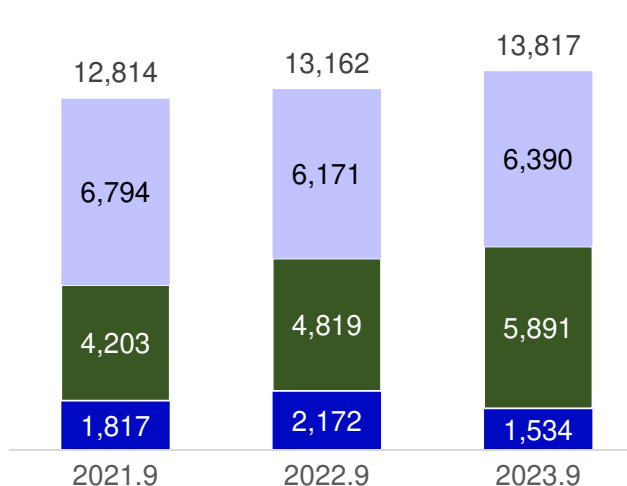
■ PW工事 ■ 官庁工事 ■ 民間工事



用途別売上高 (百万円)

前期比6億円増 (5.0%増)

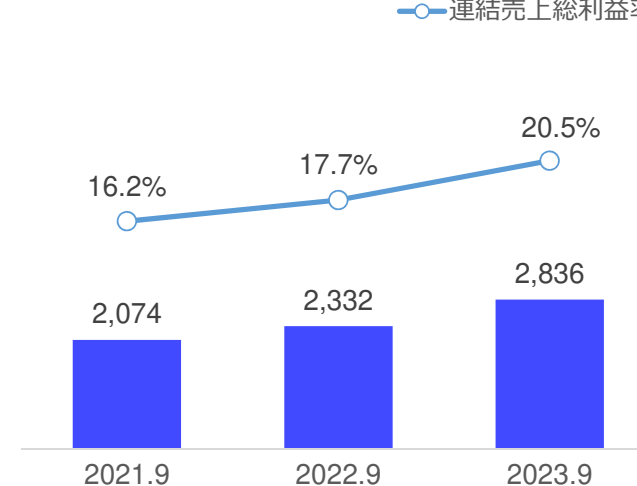
■ PW工事 ■ 官庁工事 ■ 民間工事



売上総利益 (百万円)

前期比5億円増 (21.6%増)

○ 連結売上総利益率



※ PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「バンウォール工法」による工事

〈セグメント別概況〉 不動産事業

■ 売上高

当決算期間において、前期のような自社開発の産業用地販売がなかったものの、分譲マンション事業の大幅増収により、前期比6億円の増収

■ 売上総利益

分譲マンション事業の増収効果があったものの、利益率の高い自社開発の産業用地販売がなかったことから、前期比1億円の減益

■ 分譲マンション事業

前期末に引渡を開始した物件の販売が引き続き好調であったことに加え、新規物件の完成引渡を迎えたことから前期比53戸の増加

売上高内訳 (百万円)

売上総利益 (百万円)

分譲マンション販売戸数 (戸)

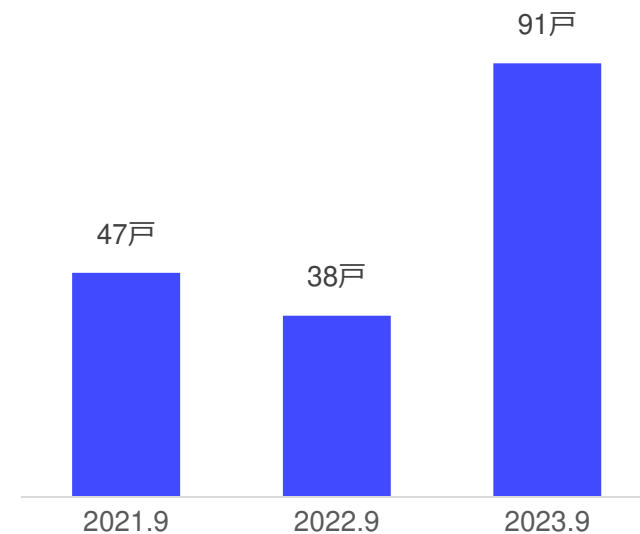
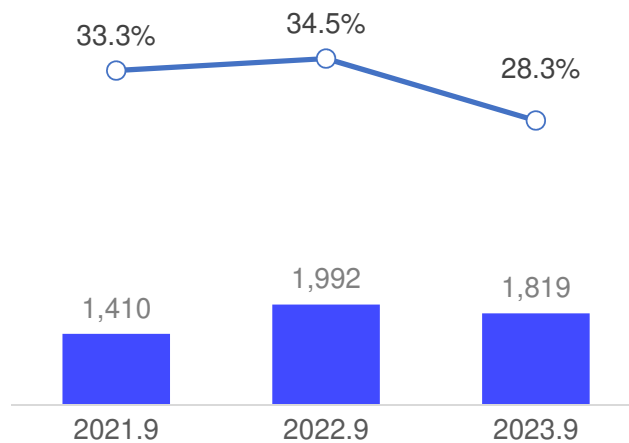
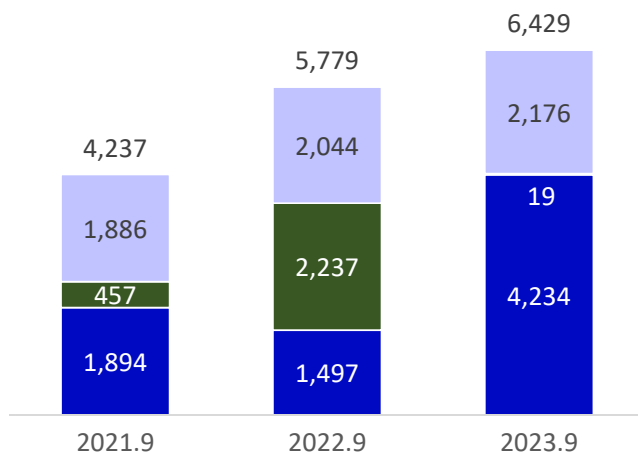
前期比6億円増 (11.2%増)

前期比1億円減 (8.7%減)

前期比53戸増 (139.5%増)

■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他

○ 連結売上総利益率



連結財政状態

- **総資産**：建設事業の施工の進捗に伴い未成工事支出金が18億円増加したこと、産業用の開発用地の取得により販売用不動産が20億円増加したことなどから、総資産は24億円の増加
- **負債**：未成工事支出金の増加や販売用不動産の取得に伴う資金需要を借入金で賄ったことで有利子負債が40億円増加した一方、法人税、消費税の支払などにより、負債は19億円増加
- **純資産**：利益剰余金の計上などにより、純資産は5億円増加

□ 連結貸借対照表

資産の部		2023.3 実績	2023.9 実績	増減	負債の部		2023.3 実績	2023.9 実績	増減
流動資産	現金預金	22,821	20,771	▲2,049	流動負債	仕入債務	18,697	17,743	▲953
	売上債権	42,753	42,670	▲83		短期借入金	28,100	31,800	3,700
	未成工事支出金	2,074	3,921	1,847		未成工事受入金	4,604	5,059	455
	販売用不動産	20,239	22,314	2,074		その他	5,442	3,787	▲1,655
	その他	4,334	4,185	▲148		計	56,843	58,390	1,546
	計	92,223	93,863	1,639	固定負債	長期借入金	3,800	4,100	300
固定資産	有形固定資産	28,497	29,014	517		その他	8,912	8,982	70
	無形固定資産	805	717	▲88		計	12,712	13,082	370
	投資その他の資産	8,460	8,855	395	負債合計	69,556	71,472	1,916	
	計	37,763	38,588	824	純資産	60,431	60,978	546	
資産合計		129,987	132,451	2,463	負債・純資産合計		129,987	132,451	2,463

連結財政状態

□ 主要経営指標

	(単位：百万円)					
	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2022.9実績	2023.9実績
総資産経常利益率 (ROA)	7.3%	6.3%	5.0%	5.9%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	10.2%	6.2%	8.6%	7.6%	—	—
1株当たり当期純利益 (EPS)	118.85円	75.86円	112.18円	104.83円	—	—
自己資本比率	48.6%	42.1%	49.4%	46.5%	51.3%	46.0%
有利子負債	26,057	42,940	30,400	31,900	25,900	35,900
NET有利子負債 (※)	12,281	20,848	8,388	9,078	5,315	15,129

(※) NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：百万円)					
	2018.9実績	2019.9実績	2020.9実績	2021.9実績	2022.9実績	2023.9実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	▲ 4,351	2,823	4,050	4,732	4,580	▲ 4,174
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 580	▲ 1,462	▲ 0	▲ 2,014	▲ 586	▲ 816
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,320	▲ 2,739	4,169	▲ 5,023	▲ 5,420	2,951

受注高、次期繰越高総括

■ 受注高

大型物流施設や工場などの受注が集中した前期に比べ60億円の減少

■ 次期繰越高

建築工事において、前期に比べ売上高が大幅に増加したこと並びに受注高が前期を下回ったことで前期比69億円の減少

※2023年10月30日に、大府東海開発プロジェクト1号宅地の販売が完了し、同時に建築工事の契約も終えており、現時点では受注高、次期繰越高とも大幅に増加。

□ 受注高

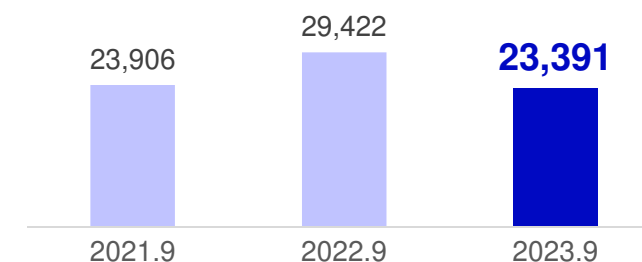
	2021.9 実績	2022.9 実績	2023.9 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築工事	7,474	17,444	10,761	▲6,682	▲38.3%
土木工事	16,432	11,978	12,629	651	5.4%
合計	23,906	29,422	23,391	▲6,031	▲20.5%

□ 次期繰越高

	2021.9 実績	2022.9 実績	2023.9 実績	前期比	
				増減額	増減率
建築工事	30,144	56,955	45,479	▲11,475	▲20.1%
土木工事	28,405	27,079	31,625	4,545	16.8%
合計	58,549	84,034	77,105	▲6,929	▲8.2%

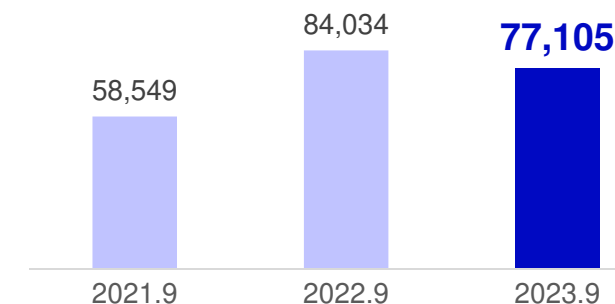
受注高 (百万円)

前期比60億円減 (20.5%減) 



次期繰越高 (百万円)

前期比69億円減 (8.2%減) 



Ⅱ

2024年3月期通期業績予想

2024年3月期通期予想について

2024年3月期の通期予想は売上高1,220億円、営業利益95億円、当期純利益63億円と売上高、各利益段階ともに過去最高値を見込む

■ 売上高

不動産事業が大幅な増収となることで、売上高全体では前期実績を上回り、過去最高となる見込み

■ 利益

大幅な増収効果により、各利益段階においても前期実績を大きく上回り、過去最高益となる見込み

(単位：百万円)

□ 2024年3月期連結予想	2023.3 実績	2024.3 通期予想	前期比 (通期)	
			増減額	増減率
売上高	111,110	122,000	10,889	9.8%
完成工事高	94,265	98,700	4,434	4.7%
不動産事業等売上高	16,845	23,300	6,454	38.3%
売上総利益	16,590	19,700	3,109	18.7%
(売上総利益率)	(14.9%)	(16.1%)		1.2pt
完成工事総利益	10,822	9,400	▲ 1,422	▲ 13.1%
不動産事業等総利益	5,768	10,300	4,531	78.6%
販売費及び一般管理費	9,377	10,200	822	8.8%
営業利益	7,212	9,500	2,287	31.7%
(営業利益率)	(6.5%)	(7.8%)		1.3pt
経常利益	7,259	9,500	2,240	30.9%
(経常利益率)	(6.5%)	(7.8%)		1.3pt
親会社株主に帰属する当期純利益	4,508	6,300	1,791	39.7%
(当期純利益率)	(4.1%)	(5.2%)		1.1pt

売上高・営業利益増減要因（対2023.3期実績）

■ 売上高

建築事業：子会社化した北和建設株式会社の売上高も加わることで、前期実績を上回る見込み

不動産事業：過去最大規模の自社開発用地の販売が完了したことで、前期実績を大きく上回る見込み

■ 利益

建築事業：採算の厳しい一部工事の影響により、前期実績を下回る見込み

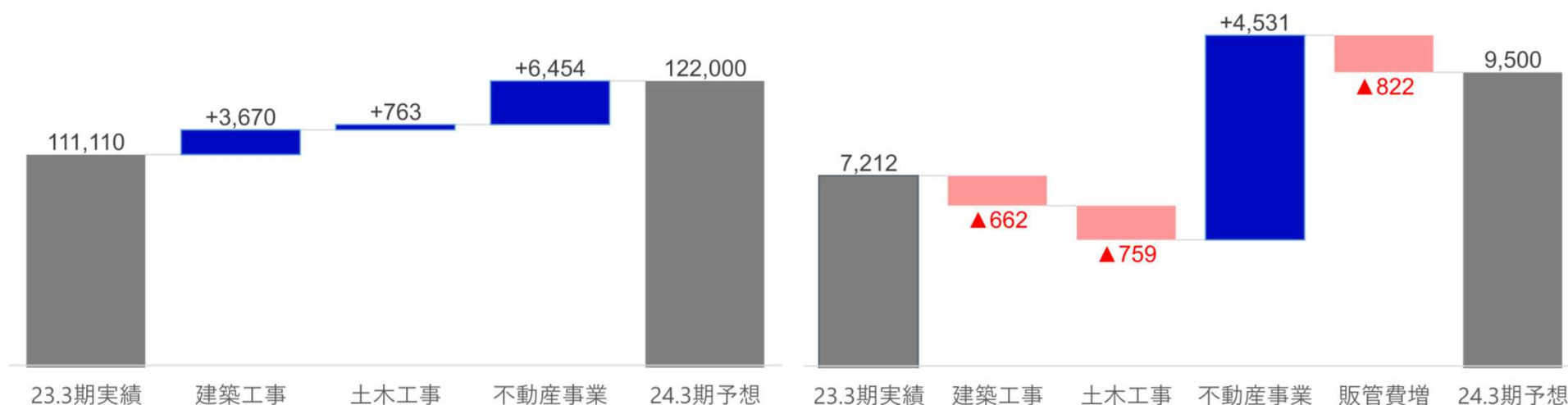
不動産事業：自社開発用地の販売に伴い、前期実績を大きく上回る見込み

売上高（百万円）

対前期 **10,889**百万円増

営業利益（百万円）

対前期 **2,287**百万円増



事業主として当社が手掛ける、過去最大規模の開発プロジェクト

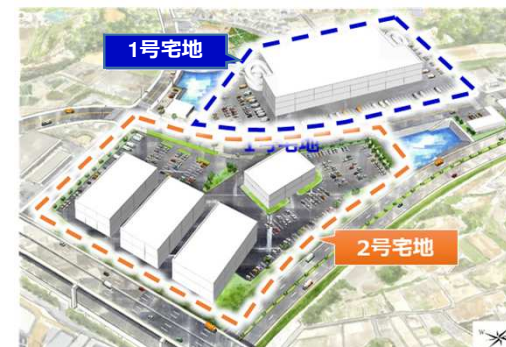
愛知県大府市並びに東海市の二つの、約7万坪（23万㎡）の工業団地開発事業。2023年10月に野村不動産株式会社との1号宅地の販売が完了し、2024年3月期から2026年3月期の3期間にわたり、完成工事高、不動産事業等売上高の合計で概算600億円程度の売上高の計上を見込む。

（詳細は、2023年10月20日開示の「販売用不動産の売却等（予定）に関するお知らせ」をご参照）

■ 事業スケジュール：2016年4月～2027年3月（予定）



■ プロジェクト概要

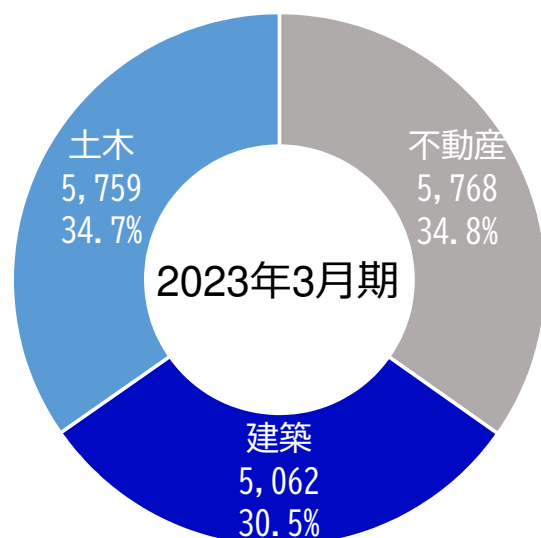


現地航空写真（23年9月末現在）

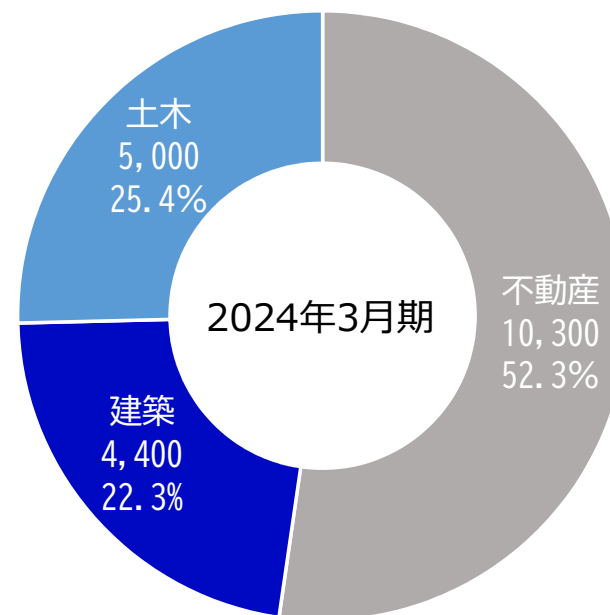


- 2024年3月期の売上総利益に占める各部門の割合は当社が手掛ける過去最大規模の自社開発用地の販売の寄与もあり、一時的に不動産部門が大きく上昇

売上総利益166億円に占める割合

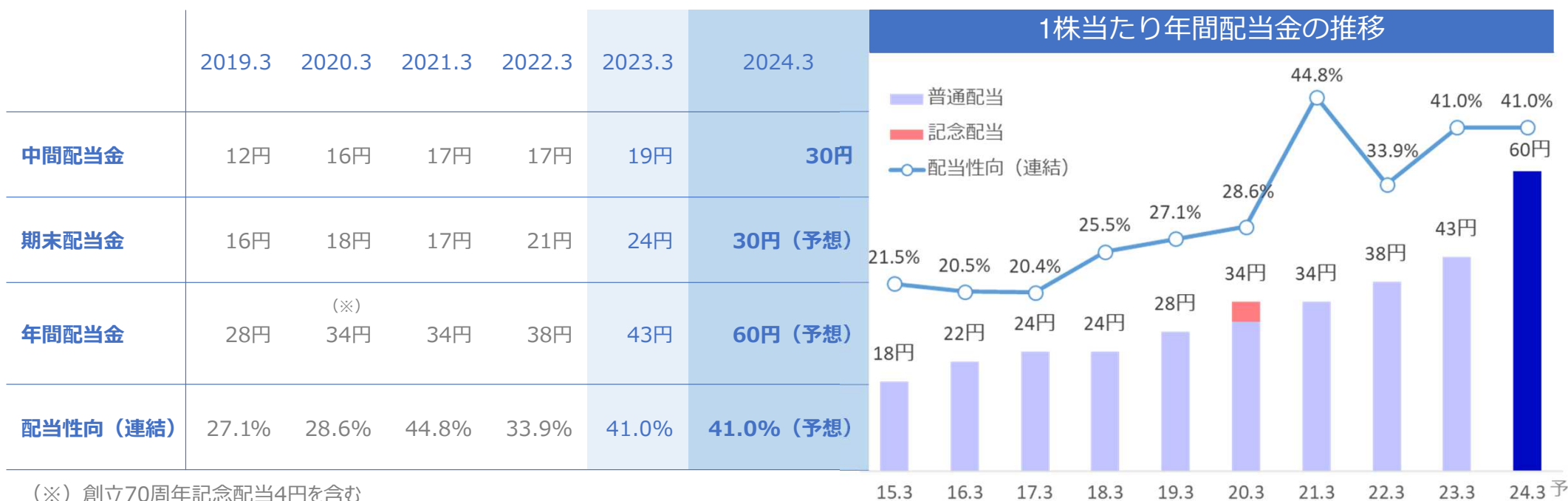


売上総利益197億円に占める割合



配当について

- 2024年3月期の中間配当金は公表値どおり30円とする
- 期末配当予想も公表値どおり30円とし、年間配当金は前期比17円増配の60円とする予定
- 3期連続で増配（11期連続で減配なし）予定
- 配当性向は、中期経営計画の配当方針「30%以上」を上回る水準で推移



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。